

全国の新規感染者数は、急速な増加が続き、政府では、現在適用されている3県に合わせて13都県にまん延防止等重点措置を適用する方針と聞いております。

本市でも、人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数が本日、15.4人となり、昨年9月10日以来、本市のフェーズ3の感染者の指標の15人を超えました。今までの感染例を見ますと、県外から帰省した際、又は、県外へ外出した際の会食の機会などを経て本市に持ち込まれる事例が多くみられ、全国的な傾向に見られるように、若い世代の増加が目立っておりましたが、昨日から、本人も家族も県外との往来・接触がない事例も出てきており、今後、地域内感染がいきに広がる可能性もあります。県外からのウイルスの流入から、地域内感染が始まっている状況になったと考えています。

県内では、1月8日から「岩手警戒宣言」が発出され、まん延防止等重点措置区域を含む感染拡大地域との往来は慎重に判断することや、更なる感染拡大を防ぐために、危機感を持って基本的な感染対策の再徹底をすることなどが求められております。

市民の皆様には、感染拡大防止のために、マスクの着用や手洗い、三密の回避などの基本的な感染対策を今一度確認し、心にしっかりととどめ、更に継続していただきたいと存じます。

御自身はもとより、家族、友人、仕事の仲間など大切な人の命と健康を守るためにも、のどの違和感や発熱など風邪のような症状がある方は、外出を自粛し、かかりつけ医や受診・相談センターに電話相談の上、必ず早期に医療機関を受診していただくよう、お願いいたします。

あわせて、感染に不安を感じる盛岡市民を始め、岩手県民の皆様は、無料でPCR検査ができる検査機関が市内に12か所ございますので、ぜひ、活用していただきますようお願いいたします。また、3回目のワクチン接種について、時期になりましたら、積極的にワクチンを接種していただきますようお願いいたします。

令和4年1月19日

盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長（盛岡市長） 谷 藤 裕 明